

●佐伯市のにら産地の紹介

大分県の一番南に位置する佐伯市は、温暖な気候を活かした施設園芸が盛んな地域です。佐伯市では、ハウスを利用したにらの周年栽培を行っています。

就農するにあたっては、にら栽培の技術や経営をベテラン農家のもとで研修する「佐伯市ファーマーズスクールを設置・運営しており、2年間の新規就農者の育成を図っています。

- ・ビニールハウスでにらを育成し、毎日収穫（市場休みは除く）し、周年出荷を行います。
- ・夏収穫する夏にらと、冬収穫する冬にらは、異なるハウスで栽培を行います。
- ・収穫後は、作業小屋で痛み葉などを取り除く調整作業を行います。労働時間の多くは、この調整作業です。
- ・年間を通じて、労働時間に大きな変化はなく、安定した労働時間です。

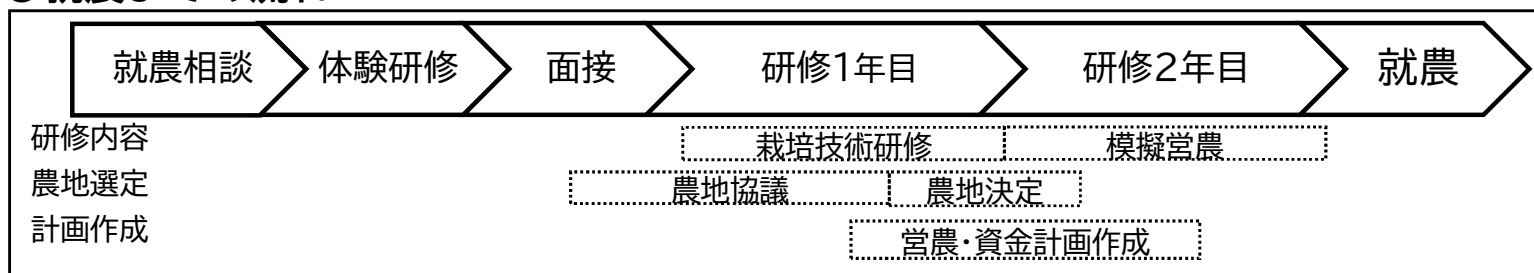


『農業未経験のあなたでも大丈夫!』部会、JAおおいた、佐伯市・南部振興局の関係機関が主軸となってサポートします。

●にら栽培スケジュール

品目名/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏にら	播種			定植				収	穫			
冬にら				播種			定植				収	穫
			収	穫								

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・にら 30a 17.1t(5.7t)

販売額・所得

・販売額 1,145万円・所得 306万円

従事者

・家族 2人

・単収増加
・雇用増

就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

・にら 30a 18t(6t)

販売額・所得

・販売額 1,206万円・所得 361万円

従事者

・家族 2人

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●目標とする経営体

経営概要

面積30a 単収5.7t 販売額1,178万円
構成員2名（臨時雇用1名（家族労働力））

- ・にら専作、周年栽培
- ・JA共販



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

JAおおいた南部エリアにら部会

部会員数：22戸

面積：5.66ha、販売額7.6千万円（R5実績）

就農コーチ：5名

【活動】

- ・技術向上のための栽培講習会、出荷審査

部会全体で、新規栽培者のサポートをします。



●佐伯市の支援策

- ・佐伯市ファーマーズスクール
研修期間2年、就農コーチの圃場での実習、
模擬経営（2年目）、座学（月1回）
- ・移住等の支援
研修期間中の家賃を助成（1万円／月）
移住応援給付事業補助、空き家購入補助、
空き家改修補助、家財処分補助
- ・子育て支援
さいきっ子医療費助成事業
満18歳となる年度末までの入院・通院・
調剤にかかる医療費（健康保険適用分）の
自己負担分を全額助成

●産地が求める人材

- ・農業に対する情熱があり、コミュニケーション能力があること
- ・就農コーチや関係機関からの助言、指導を聞き入れることができること
- ・佐伯市ファーマーズスクール実施要領の研修生の要件を満たす方

- ・研修生の1組2名程度募集

※市全体の研修希望者数により調整あり

●問い合わせ先

JAおおいた南部営農経済センター(佐伯)
〒876-0813 佐伯市長島町1-2-4
TEL:0972-25-1231
FAX:0972-25-1241
ホームページ:<https://jaoita.or.jp/>

佐伯市役所 農政課 園芸振興係
〒876-8585 佐伯市中村南町1-1
TEL:0972-22-3239
FAX:0972-22-3477
メール:engeisinkou@city.saiki.lg.jp
ホームページ:
<http://www.city.saiki.oita.jp>

